

桃花水

Fair

桃花水祭りは東京から京都へと舞台は移ります。

京都「高麗ギャラリーカフェ」にて

京都、東山は、3月13日から20日まで
花灯笼祭りをしています。

「高麗ギャラリーカフェ」では桃花水祭りを
開催し、いだしん先生が開運ぜんざいを
作って下さり、コーヒーもいれて下さいます。
是非御立ち寄り頂ければうれしいです。

2010年

3月16日(火)~19日(金)

pm 3:00 ~ pm 6:00

高麗ギャラリーカフェ

Keiko Koma Selection
<http://www.keikokoma.com>

京都市東山区八坂通東大路東入二丁目金園町 397 Tel:075-533-0513

桃花水祭り

京都 八坂「高麗」に、雪の五女山
高麗恵子心模様写真展が加わりました。

高麗ギャラリーカフェにて

梅の花が咲く頃、桃花水の音が聞こえてきました。ふるさとの大地に桃の花が咲く頃、雪どけの音を桃花水と言うと知った時から、心がときめいてなりませんでした。子供の頃から桃の節句と言われた3月3日を過ぎると、一挙に春めいてくる陽の光、風に心がときめいた時を思い出します。私は桃の花が咲き、空間が桃色に染まる時、希望の光が見え、生きてこれました。何故か梅、桃、桜というと桃の花が一番好きでした。昨年、桜の花が咲く頃、京都に行った時に桃の花は大陸に咲く花と知りました。5月に念願が叶い高句麗の地に行った時に、桜の花はなく、桃の花が咲くと知り、桃の花に希望を感じ生きてきたことに合点がいました。人間の存在は不思議です。知らなくても生命の内では知っているように感じて生きていくのです。今年は桃花水祭りがしたいと感じ、高麗水に桃花水を描きました。そして偶然にもいだきを始めた記念日3月2日は、雪の五女山にいく事が叶いました。五女山でのコンサート実現にも向かい始め、高麗ギャラリーカフェでは、雪の五女山の写真展を開催出来る事になりました。ひとつひとつの写真を入れる額に心模様を描きました。五女山の石垣のひとつひとつに高句麗魂が宿っています。五女山の夢に向かい、石垣のひとつひとつのように一人一人が永遠に生きる自分となって五女山にてお会い出来ればこれほどうれしいことはありません。

また、五女山から帰国した夜、かねてから作りたかった高麗しるこも完成しました。別名「美健しるこ」と言われるものですが、私のオリジナルしるこです。東京の桃花水祭りの時は大好評で、皆様「美人しるこ」と呼んでおられました。桃花水祭りの期間中、召し上がって頂けます。材料はすべて中国大陸でとれる豆です。中国では産後の女性が食べる素材と聞いています。栄養価が高いと聞いています。桃花水祭りに高麗水で召し上がって頂きたい気持ちで高麗水を作ったのです。又、この度も会期中いだきしん先生が開運ぜんざいを作って下さりコーヒーも淹れて下さいます。何と幸運なことでしょう。

是非雪の五女山の写真をご覧頂ければうれしいです。心よりお待ちしております。

高麗恵子